



各 位

NPO 放送批評懇談会 (担当: 中島/齋藤)

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

発表!! 第 59 回ギャラクシー賞

テレビ、ラジオ、CM、報道活動各部門入賞作品

テレビ部門「個人賞」「特別賞」

ラジオ部門「DJ パーソナリティ賞」

平素は放送批評懇談会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

テレビ、ラジオ、CM の作品、制作者、関係者に贈る賞として 59 年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。

本日、第 59 回のテレビ部門、ラジオ部門、CM 部門、報道活動部門の入賞作品および、テレビ部門個人賞、特別賞、ラジオ部門 DJ パーソナリティ賞を発表いたします。詳しくは 2 ページ以降をご覧ください。貴誌/紙、貴メディアでのお取り扱いをお願いいたします。

なお、各部門の大賞、優秀賞、選奨は、6 月 1 日(水)開催の贈賞式で決定、発表いたします。

贈賞式は新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客で執り行い、放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネルでライブ配信を行います。

6 月 1 日の贈賞式ライブ配信も広くお知らせいただければ幸いです。

第 59 回ギャラクシー賞贈賞式 YouTube ライブ配信

日時: 6 月 1 日(水) 午後 3 時~5 時 15 分 (15:00-17:15)

司会: 村山仁志(長崎放送アナウンサー)、鬼頭里枝(フリーアナウンサー)

放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/HOUKONchannel>



新型コロナウイルスの感染状況によっては、贈賞式を延期または中止する場合があります。ご了承ください。



第 59 回ギャラクシー賞 テレビ部門

委員長 古川柳子

副委員長 桧山珠美

委員 石田研一 梅田恵子 永 麻理 太田省一 岡室美奈子 桶田 敦 加藤久仁 兼高聖雄 戸田桂太
戸部田誠 藤田真文 細井尚子

2021 年度のテレビ部門への応募総数は昨年を上回る 366 本（地上波 260 本、BS/CS 局 29 本、ケーブルテレビ局 17 本、制作会社 60 本）。本年度もジャンルを問わず、力のこもった作品がならびました。これに月間賞作品 48 本を加えた計 414 本の中から厳正な審査の結果、入賞作品 14 本、個人賞、特別賞、各 1 本を選出いたしました。

終息が見えないコロナ禍、経済状況の悪化、忘却されてゆく戦争、10 年後の被災地、激化する世界危機、変わりつつあるジェンダーや障害への意識、偏見をはねのける生きざま、新しい表現手法の試み……。さまざまな切り口から 2021 年の諸相を映し出す力作の数々に現在進行形の「今」と併走するテレビの力を改めて感じました。同時に、長い取材を経たからこそ記録することができた貴重な証言や、現在の出来事を未来から問い直す視点などもみられ、高い評価が集まりました。（古川柳子）

テレビ部門入賞作品

以下の 14 本から、大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 10 本が選出され、6 月 1 日発表されます。

◆大輝、15 の春

長崎放送

◆土曜ドラマ「今ここにある危機とぼくの好感度について」

日本放送協会 NHKエンタープライズ

◆大豆田とわ子と三人の元夫

関西テレビ放送 カズモ

◆遺骨～声なき声をきくガマフヤー～

沖縄テレビ放送

◆E T V 特集「ドキュメント 精神科病院×新型コロナ」

日本放送協会

◆E T V 特集「“玉碎”の島を生きて～テニアン島 日本人移民の記録～」

日本放送協会 グループ現代 NHKエンタープライズ



◆1 Fリアル あの日、原発の傍らにいた人たち

福島中央テレビ

◆ネアンデルタール人は核の夢を見るか～“核のごみ”と科学と民主主義～

北海道放送

◆忠臣蔵狂詩曲 No. 5 中村仲蔵 出世階段

日本放送協会 オッティモ

◆金曜ドラマ「最愛」

TBSテレビ TBSスパークル

◆ヤギと大悟

テレビ東京 SION

◆笑いの総合格闘技！千原ジュニアの座王 新春SP

関西テレビ放送

◆謎の日本人サトシ～世界が熱狂した人探しゲーム～

日本放送協会 NHKエンタープライズ Mt. MELVIL

◆BS1スペシャル「もう一度ペットに会いたい～世界に広がるクローンビジネス～」

日本放送協会 テムジン

テレビ部門特別賞

よるドラ「恋せぬふたり」(日本放送協会)

アロマンティック・アセクシュアルを正面から描き、固定観念に囚われない新しいドラマの可能性を拓いた功績に対して
〈選評〉

本作は、他者に恋愛感情や性的欲望を抱かないアロマンティック・アセクシュアルの男女の同居を通して、従来の価値観に囚われない新しい家族のあり方を示しました。これまで多くのドラマが恋愛の成就や結婚をゴールとして描いてきました。しかし本作は、恋をすることが誰にとっても幸福であるという固定観念を覆し、パターン化した家族関係、人間関係の描き方に一石を投じたと言えます。ドラマ史上画期的な作品としてその功績を称え、特別賞を贈ります。



テレビ部門個人賞

草薙 剛

大河ドラマ「青天を衝け」(NHK)の演技

<選評>

実力派俳優として評価の高い草薙剛さん。2021 年はNHK大河ドラマ「青天を衝け」で、強く心に残る徳川慶喜像を見せてくれました。内面が滲み出る表情や静かに抑制された台詞など、草薙さんの繊細な演技により、これまで光を当てられることが少なかった謎多き江戸幕府最後の将軍がひとりの人間として立ち上がりました。「慶喜はこういう人だったのかも」と思わせ、後世に残る徳川慶喜像を作り上げた見事な表現力に敬意を表し、個人賞を贈ります。



第 59 回ギャラクシー賞 ラジオ部門

委員長 五井千鶴子

副委員長 桜井聖子

委員 鶴飼一嘉 川喜田尚 北郷裕美 永須智之 松浦正和 松崎泰弘 三原 治 迎 康子 本村 隆 山田真嗣

コロナ禍でスタジオにアクリル板がある風景もリモート録音もマスク姿も、もはや当たり前のことになってしまいました。そのような状況にもかかわらず、第 59 回ギャラクシー賞ラジオ部門には上期 43 本、下期 41 本、計 84 本の応募をいただきました。内訳は生ワイド 18 本、音楽エンターテインメント 25 本、ドラマ 17 本、報道ドキュメンタリー 24 本でした。

特筆すべきは、ドラマとコミュニティFM局の出品が増加したことがあげられます。東日本大震災 10 年、新型コロナ、ウクライナ情勢と作品のテーマも時宜を得た内容が多く、チャレンジングであり多様性に富んでいました。

ラジオの役割を考えさせられたこの 1 年。議論と数度にわたる投票の結果、選考委員の総意で 8 本の入賞作が選出されました。

(五井千鶴子)

ラジオ部門入賞作品

以下の 8 本から、大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 4 本が選出され、6 月 1 日発表されます。

◆青春アドベンチャー「アゴラ 69～僕らの詩～」

日本放送協会



◆SBCラジオスペシャル「Lost and Found～家族と故郷を失った父と娘の10年～」

信越放送

◆アサデス。ラジオ (brunch)

九州朝日放送

◆ERのオーケストラ

CBCラジオ

◆わった一島のオーケストラ～琉球交響楽団～スペシャル！

琉球放送

◆3.11 震災特番「Smile Again Project ～被災地からの希望と勇気と微笑みと…2022」

FMひらかた

◆村上 RADIO 特別版「戦争をやめさせるための音楽」

エフエム東京

◆メッセンジャー黒田のチラシダス

MBSラジオ

ラジオ部門DJパーソナリティ賞

森谷佳奈

「森谷佳奈のはきださ Night」(山陰放送) パーソナリティとして

<選評>

毎週スピード感あふれるオープニングトークでぐっとリスナーの耳をつかみ、本音と少しの毒をはきだしながら走り続けた「森谷佳奈のはきださ Night!」はこの春7年目を迎えました。radikoとSNSの親和性をいち早く取り入れ、twitterやメールにクイックに反応。番組前後にもSNSで情報発信するなどリスナーとの間合いの取り方も絶妙です。今なお新規リスナーを獲得する工夫を続けており、番組とともにローカル局の希望の星的存在です。





第 59 回ギャラクシー賞 CM部門

委員長 服部千恵子

副委員長 汲田亜紀子

委員 家田利一 泉 貴文 今宿裕昭 風間恵美子 川野康之 木下一郎 島崎英雄 中島和哉 村田玲子
山口菜穂美 山下治城

第 59 回ギャラクシー賞CM部門は、上期 109 本、下期 132 本、計 241 本の応募をいただきました。テレビCMが 161 本、ラジオCMが 80 本。昨年度より全体では 5 本減でしたが、テレビ CMは 15 本の増加となりました。3 年続いたコロナ禍がひと息つき、収束はしないものの、ウィズコロナの日常が落ち着いてきたことが見える応募状況でした。十分な議論を尽くし、大賞、優秀賞、選奨の 13 作品を決定しました。

特筆すべきは、この 3 年でCM表現の方向性、コミュニケーション手法、トーン&マナーが変わってきたことでしょう。インパクトや注目度重視、声の大きな表現が多かったビフォアコロナのCMに比べ、ウィズコロナのCMは、どちらかといえば内省的。多くの人の感じる鬱屈した日常に寄り添う表現が多く見られました。「何気ない、さりげない、心地良い」伝え方が、選考する委員の共感も獲得しました。大声で語るのではなく、優しい語り口が主流。巣ごもり需要の増加、家族像の描き方の変化、テレワークによる制作手法の変化など、時代の転換点を感じながら、心に刺さる 13 作品を選出しました。

(服部千恵子)

CM部門入賞作品

以下の 13 本から、大賞 1 本、優秀賞 3 本、選奨 9 本が選出され、6 月 1 日発表されます。

【テレビCM】

◆岩手日報社 3 月 11 日震災広告 シリーズ「身元不明遺体篇・復興音楽プロジェクト」

岩手日報社 博報堂 博報堂プロダクツ

◆大塚製薬 カロリーメイト「Midnight Train 篇」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

◆輝け！みんなの九州プロジェクト 九州新幹線「流れ星新幹線」

輝け！みんなの九州プロジェクト（九州旅客鉄道・西日本シティ銀行・LINE fukuoka） JR九州エージェンシー ウミナリ 電通九州 VSQ

◆サントリーホールディングス ほろよい「ほろよい飲んで、なにしよう？」

サントリーホールディングス 電通 DASH J.C. SPARK



◆たんぽぽ温泉デイサービス一宮 デイサービス「やめられない」

たんぽぽ温泉デイサービス一宮 東海テレビ放送

◆東亜合成 アロンアルファ® タフパワー シリーズ「ウルファロンにアロンアルファインタビュー」

東亜合成 読売広告社 太陽企画

◆東京ガス 企業「子育てのプレイボール」

東京ガス 電通 KEY pro 電通クリエイティブX

◆日清食品ホールディングス カップヌードル「寒い日はとくにうまい篇」

日清食品ホールディングス 電通 ソーダコミュニケーションズ

◆日本マクドナルド Family Brand シリーズ 家族といっしょに。「ハッピーセット卒業式篇」「僕がここにいる理由篇」

日本マクドナルド TBWA HAKUHODO コネクション Headlight

◆マネーフォワード マネーフォワード クラウド シリーズ「労務の仕事篇」「支払いの仕事篇」「経費精算の仕事篇」「会計の仕事篇」「契約の仕事篇」「ERP篇」

マネーフォワード 電通 TYO MONSTER

【ラジオCM】

◆指宿白水館 企業「10年後の終わらないイヴ」

指宿白水館 KCR マクガフィン

◆カップ・クリエイト かっぱ寿司「お寿司のチカラ篇」

カップ・クリエイト ウードー音楽事務所 朝日放送ラジオ ビッグフェイス

◆大日本除虫菊 キンチョウ虫コナーズ「Hさんの話」

大日本除虫菊 電通関西支社 ヒッツコーポレーション



第 59 回ギャラクシー賞 報道活動部門

委員長 茅原良平

副委員長 長井展光

委員 市川哲夫 小泉世津子 境真理子 西島泰三 原 真 樋口喜昭 松山秀明

今期の応募本数は上期 8 本、下期 13 本の計 21 本でした。本数は前年から減少しましたが、制作者の気概に溢れる調査報道、強い当事者意識を感じる地域報道、他者への理解を深めようと現代的な視点を持って展開した取り組みなど、各局からさまざまな報道活動を応募いただきました。

最終選考に残った 10 本の入賞候補作には調査報道の作品が多くノミネートされ、そのいずれもが放送メディアの果たすべき社会的使命とメディアとしての存在意義を示すものでした。

また、ネットを併用することで放送での活動を補い、自局の取り組みを発信、拡散したり、人を引きつけ共感の輪を広げたり、ネットで集めた情報から新たな事実を浮き彫りにした作品にも注目が集まりました。本部門は創設から 20 年目を迎えましたが、こうしたネットの活用が報道活動の中においても時代の潮流として確実に現れてきています。

議論と投票を重ねて厳正な審査を行い、次の 6 本を入賞作として選出しました。

(茅原良平)

報道活動部門入賞作品

以下の 6 本から、大賞 1 本、優秀賞 2 本、選奨 3 本が選出され、6 月 1 日発表されます。

◆カムイと共に～アイヌを未来につなぐ～

札幌テレビ放送

◆偽りのアサリ～追跡 1000 日 産地偽装の闇～

CBC テレビ

◆「報道特集」東京五輪めぐり調査報道キャンペーン

TBS テレビ

◆NHK ミャンマープロジェクト

ミャンマー軍による市民への弾圧や軍事攻撃の実態に迫る一連のデジタル調査報道
日本放送協会

◆「生理の貧困」に関する報道

日本放送協会

◆「税金を使った政治家の海外視察」調査報道

フジテレビジョン



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963年、放送草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は年度単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第50回（2013年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会が開催され、月間賞が選出されている。他部門も定例会を持ち番組・作品を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎゃらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年5月下旬～6月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1、フロンティア賞 1

【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1

【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9

【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3

【その他】志賀信夫賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1

(上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。)

<志賀信夫賞>

放送批評懇談会の発展に寄与した放送評論家・志賀信夫の功績をたたえるために、2010年(第47回)創設。広く放送界の発展、放送文化の向上に貢献した人物等を表彰する。放送批評懇談会正会員の推薦を元に選出する。

<マイベストTV賞>

視聴者の参加により選ばれるテレビ番組賞で、2007年(第44回)創設。放送批評懇談会選奨事業委員会が候補番組を選定し、これを毎月、放送批評懇談会正会員と「Gメンバー」(視聴者によって構成される放送批評懇談会のオンライン会員)が投票して選出される。年間で最も得票を得たものが「マイベストTV賞グランプリ」として表彰される。

◆沿革◆

1963年度(表彰は1964年)ギャラクシー賞誕生、第1回。

1989年度 第27回、ラジオ部門独立。

1993年度 第31回、ラジオ部門に「DJパーソナリティ賞」新設。

1995年度 第33回、CM部門設立。

2002年度 第40回、報道活動部門設立。

2006年度 第44回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。

2009年度 第47回、「志賀信夫賞」を新設。

2015年度 第53回、テレビ部門にテレビの新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC(ぎやらく)」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行っています。

●過去の実賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース(<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください(掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など)。

以上